



人を育て 人を活かす

日総工産株式会社

東証第1部 コード6569

2022年3月期 第1四半期

決算説明会資料

2021年8月16日

2022年3月期 第1四半期 実績

- 前年同期比で増収増益（※対2020年3月期、増収増益）
- 自動車、電子デバイスの需要は旺盛
- 自動車系での半導体不足により一部回復に至らず
- エンジニアのニーズは堅調

- 1** 2022年3月期 第1四半期 **決算概要**
- 2** 2022年3月期 第1四半期 **活動の概況**
- 3** **ターゲット別業績について**
- 4** **今後の見通し(2022年3月期)**
- 5** **株主還元方針**
- 6** **補足資料**



1

2022年3月期 第1四半期 決算概要

2022年3月期 第1四半期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

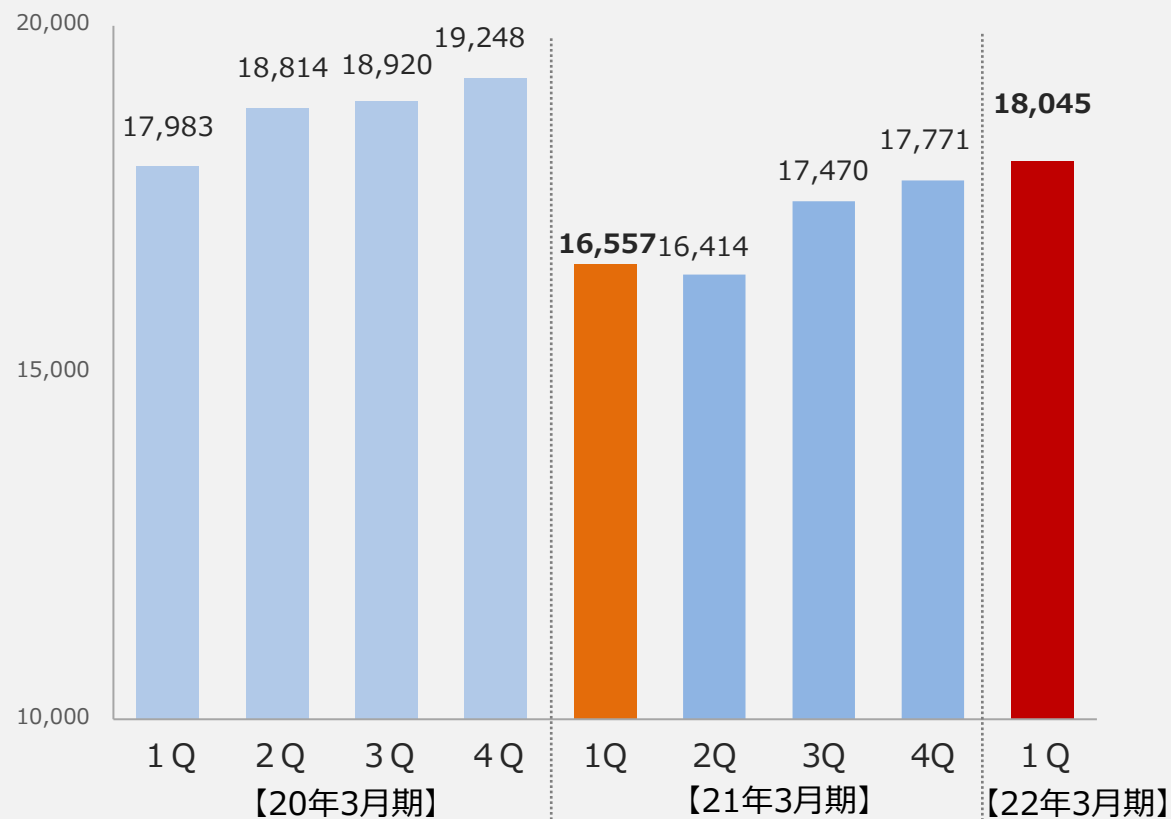
ポイント

- 在籍の増加、稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）の増加もあり、増収増益。
- 1Qの売上高、経常利益は、上場来、過去最高。
- その他の事業についても、増収増益。

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	16,557	100.0%	18,045	100.0%	1,487	9.0%
売上総利益	2,360	14.3%	3,038	16.8%	677	28.7%
販管費	2,154	13.0%	2,568	14.2%	413	19.2%
営業利益	206	1.2%	470	2.6%	263	127.9%
経常利益	238	1.4%	524	2.9%	285	119.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	101	0.6%	345	1.9%	243	239.7%

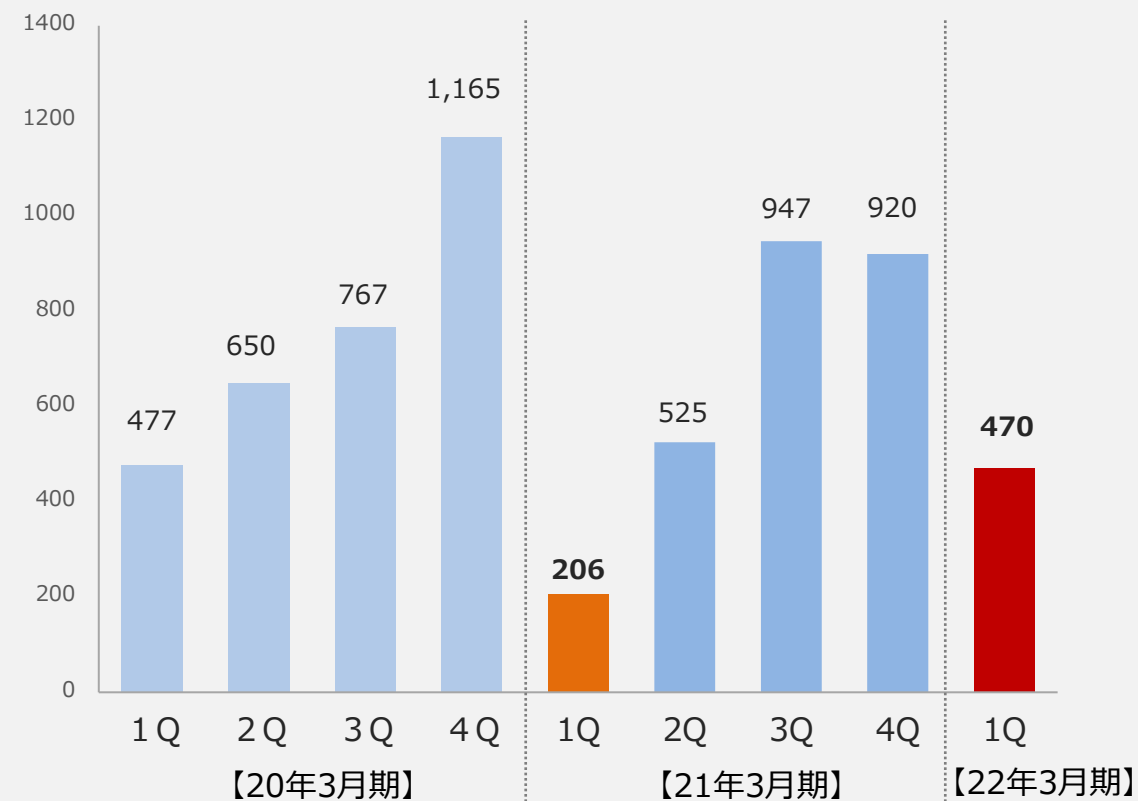
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



(単位：百万円)

売上高について

- 売上高は、在籍の回復もあり10.1%の増収。
- 1Qの売上高は、上場来、過去最高。

費用・利益面について

- 1Qの営業利益、経常利益ともに上場来、過去最高。
- 販管費は人材ニーズの回復から、採用費が増加。

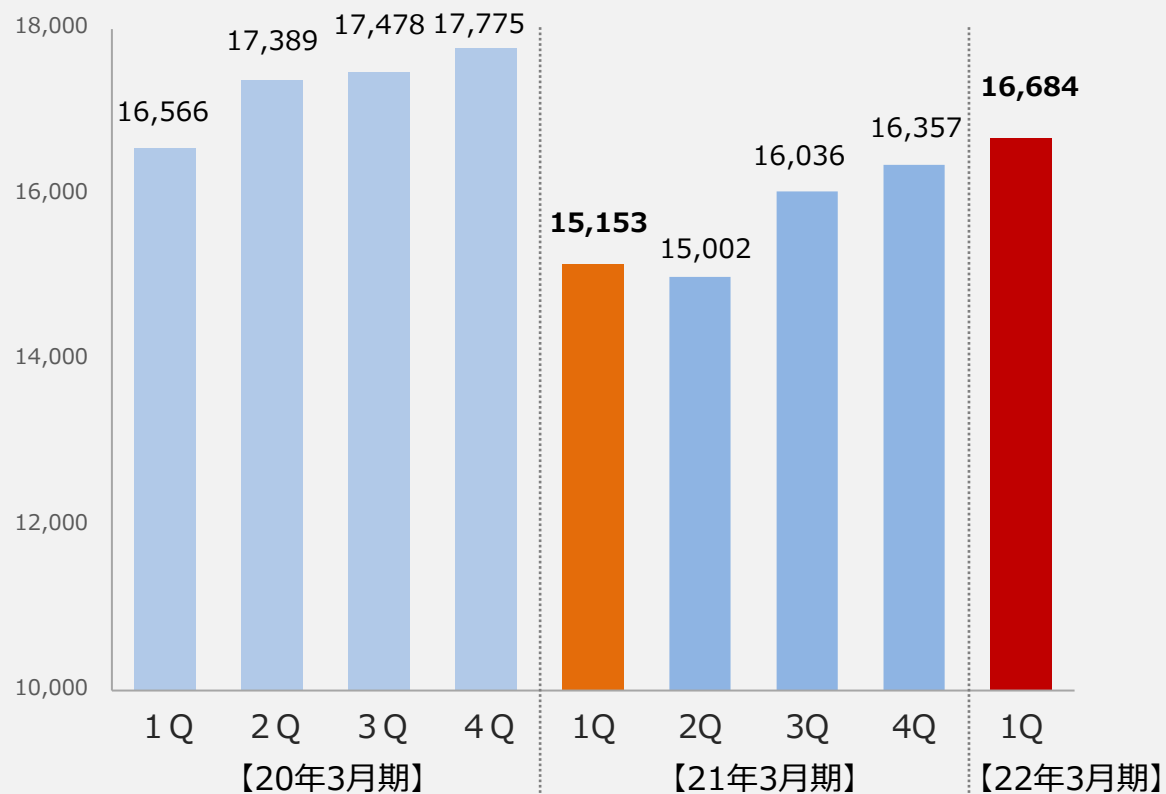
	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	15,153	100.0%	16,684	100.0%	1,531	10.1%
売上総利益	2,232	14.7%	2,900	17.4%	667	29.9%
販管費	2,028	13.4%	2,417	14.5%	389	19.2%
営業利益	204	1.4%	482	2.9%	278	135.7%
経常利益	219	1.4%	496	3.0%	277	126.5%
四半期純利益	96	0.6%	319	1.9%	222	229.7%

2022年3月期 四半期単位の単体業績



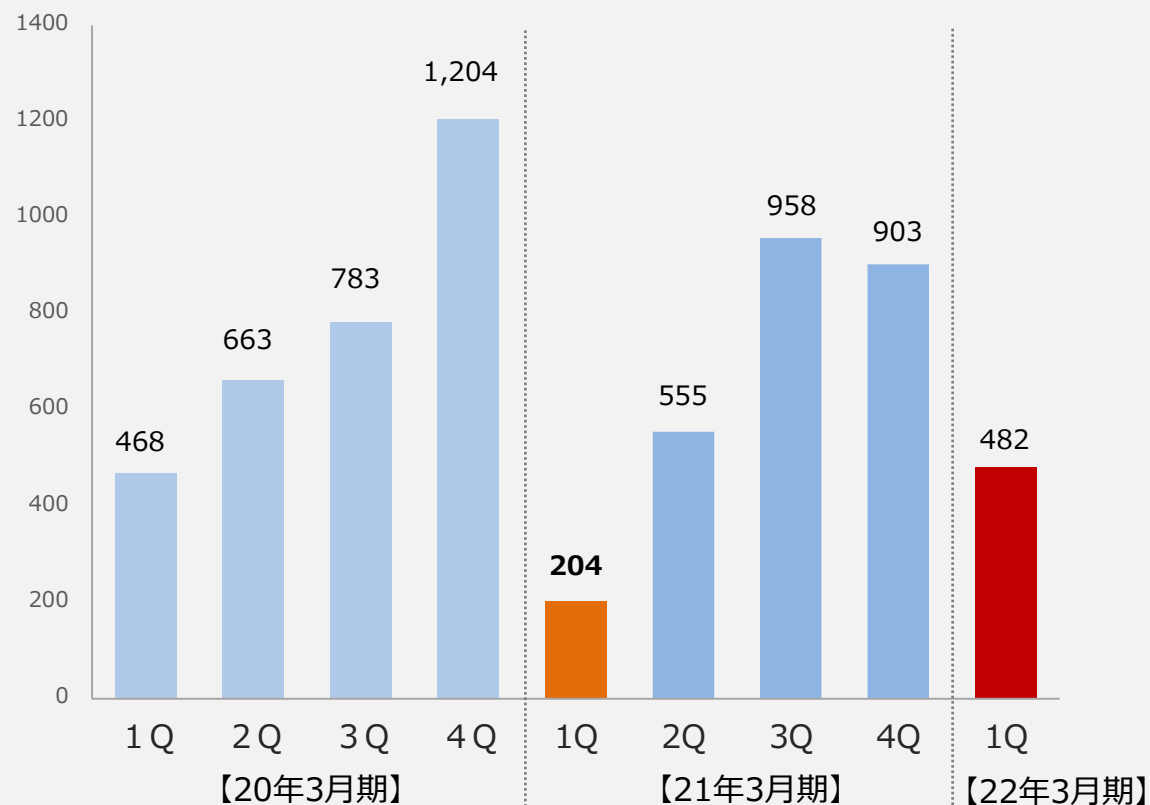
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)





2 2022年3月期 第1四半期 活動の概況

連結業績

売上高	18,045百万円	(前年同期比 +1,487百万円 / +9.0%)
営業利益	470百万円	(前年同期比 +263百万円 / +127.9%)

● 業種別売上高（前年同期比）

自動車	… +20.8%
電子デバイス	… +9.4%

- ・自動車関連では、前年同期比で20.8%増加。サプライヤーを含め、需要は旺盛だが、半導体不足による影響を受けているボデーメーカーもあり。
- ・電子デバイス関連では、前年同期比で9.4%増加。旺盛な半導体需要に加え電子部品の需要も回復。

● 四半期末在籍者数

13,856名（前期末比+710名）

- ・在籍数は、顧客の外部人材活用ニーズが堅調に推移し、前期末比で710名増加。回復基調が継続。

● 一人当たり売上高/月

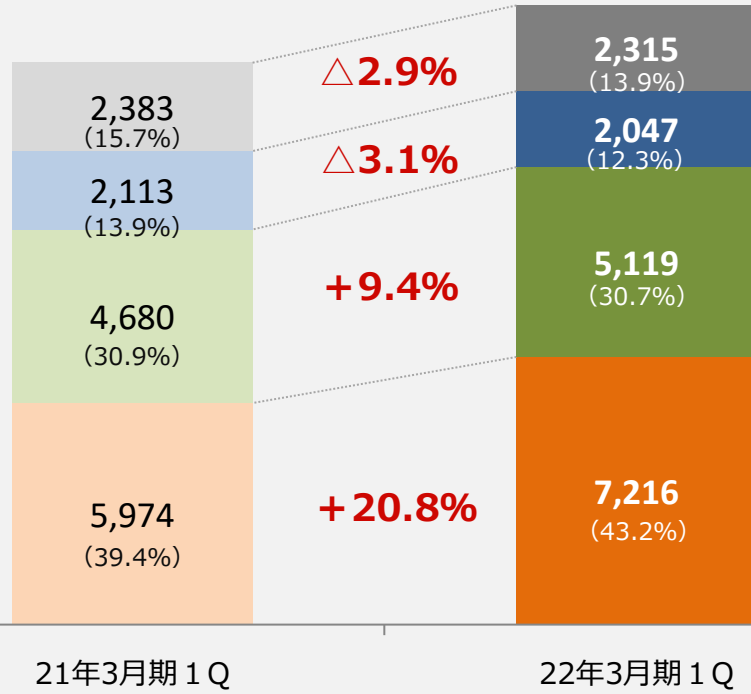
409千円（前年同期比+51千円）

- ・稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）が前年同期比で増加、一人当たりの売上高は、前年同期比で51千円増加。

2022年3月期 第1四半期 業種別売上高（単体）

売上高構成比 （単位：百万円）

■ その他 ■ 精密・電気機械 ■ 電子デバイス ■ 自動車



※（ ）内%は全売上高比、赤字の%は、前年同期比伸長率

【精密・電気機械】

リモートワークの定着によるオフィス需要の低下等もあり、前年同期比で3.1%減少。ただし、21年3月期4Qとの比較では、売上高が増加、回復基調は継続。

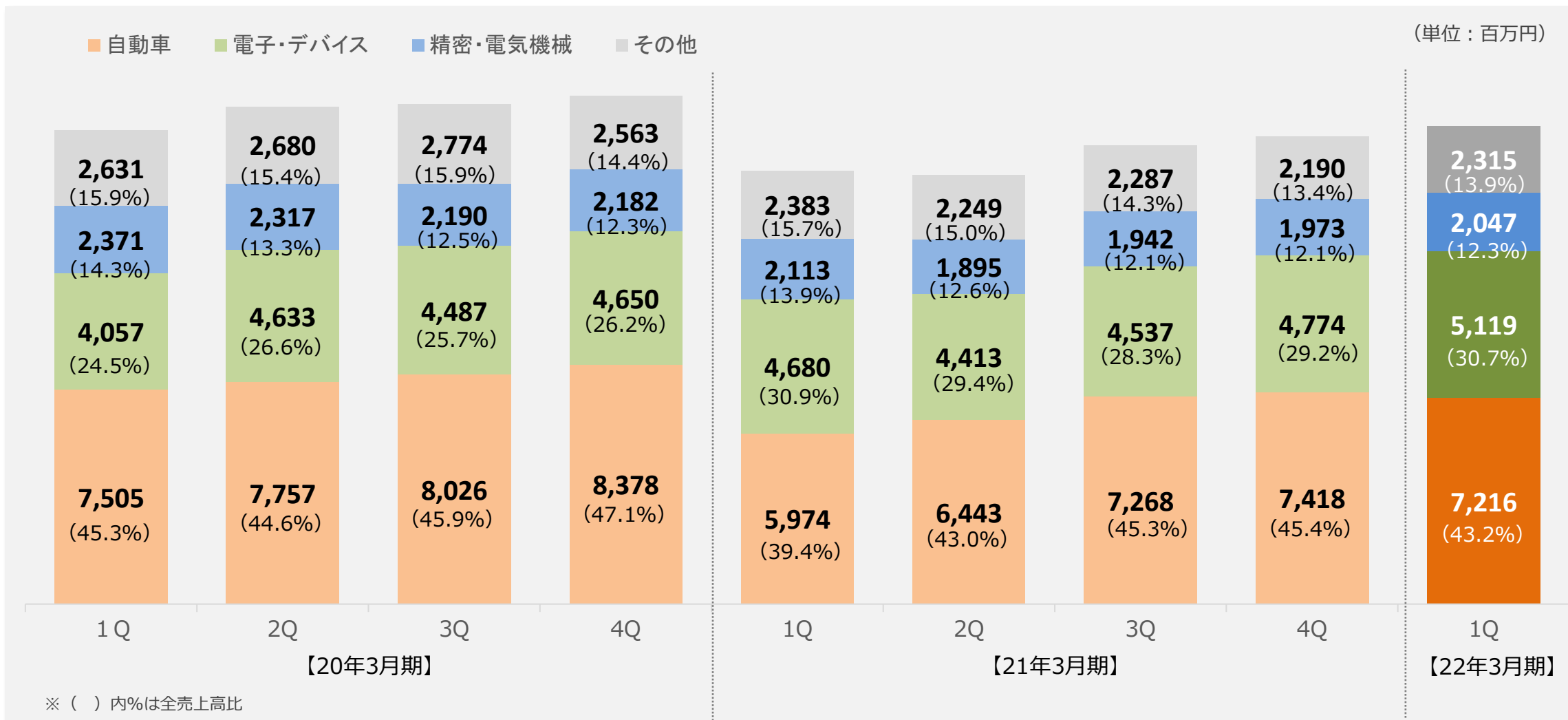
【電子デバイス】

前年同期比で9.4%増加。堅調な半導体に加え、IT需要も堅調。また電子部品の需要回復もあり、1Qの売上高は上場来、過去最高を更新。

【自動車】

前年同期比で20.8%増加。一部のボデーメーカーの需要は堅調。ただし、半導体不足による影響を受けているボデーメーカーもあり、全体回復には至らず。

2022年3月期 四半期単位業種別売上高（単体）



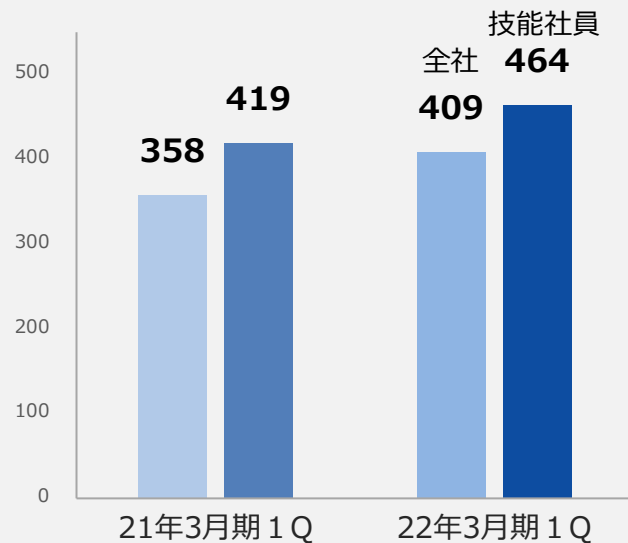
一人当たり売上高（単体）

- 2022年3月期 1Q累計 <全 社> 一人当たり売上高 409千円（前年同期比 +51千円）
<技能社員> 一人当たり売上高 464千円（前年同期比 +45千円）
- 全社の一人当たり売上高は、前年同期比で増加。1Qの一人当たり売上高は上場来、過去最高。
技能社員も同様に増加も、半導体不足による影響を受けているメーカーも一部ありコロナ前までは戻らず。

一人当たり売上高

（単位：千円）

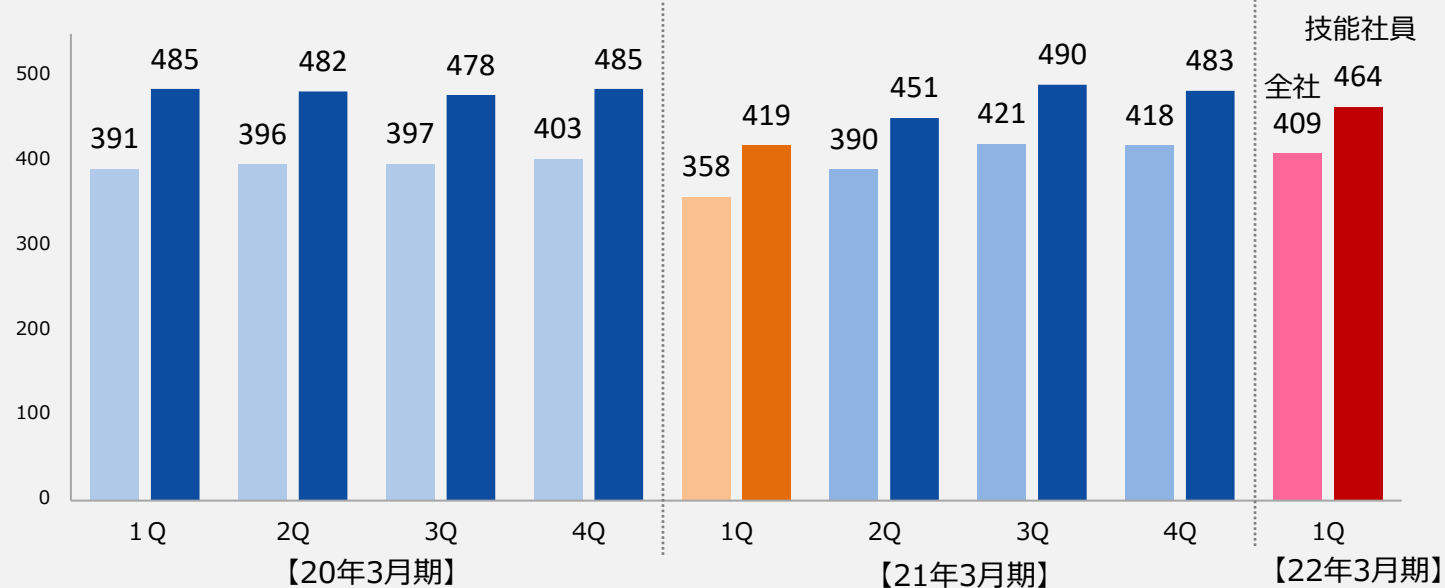
（月平均換算）



一人当たり売上高

（単位：千円）

（四半期単位）



在籍人数（単体）

前期末比

+710名（+5.4%）

ポイント①

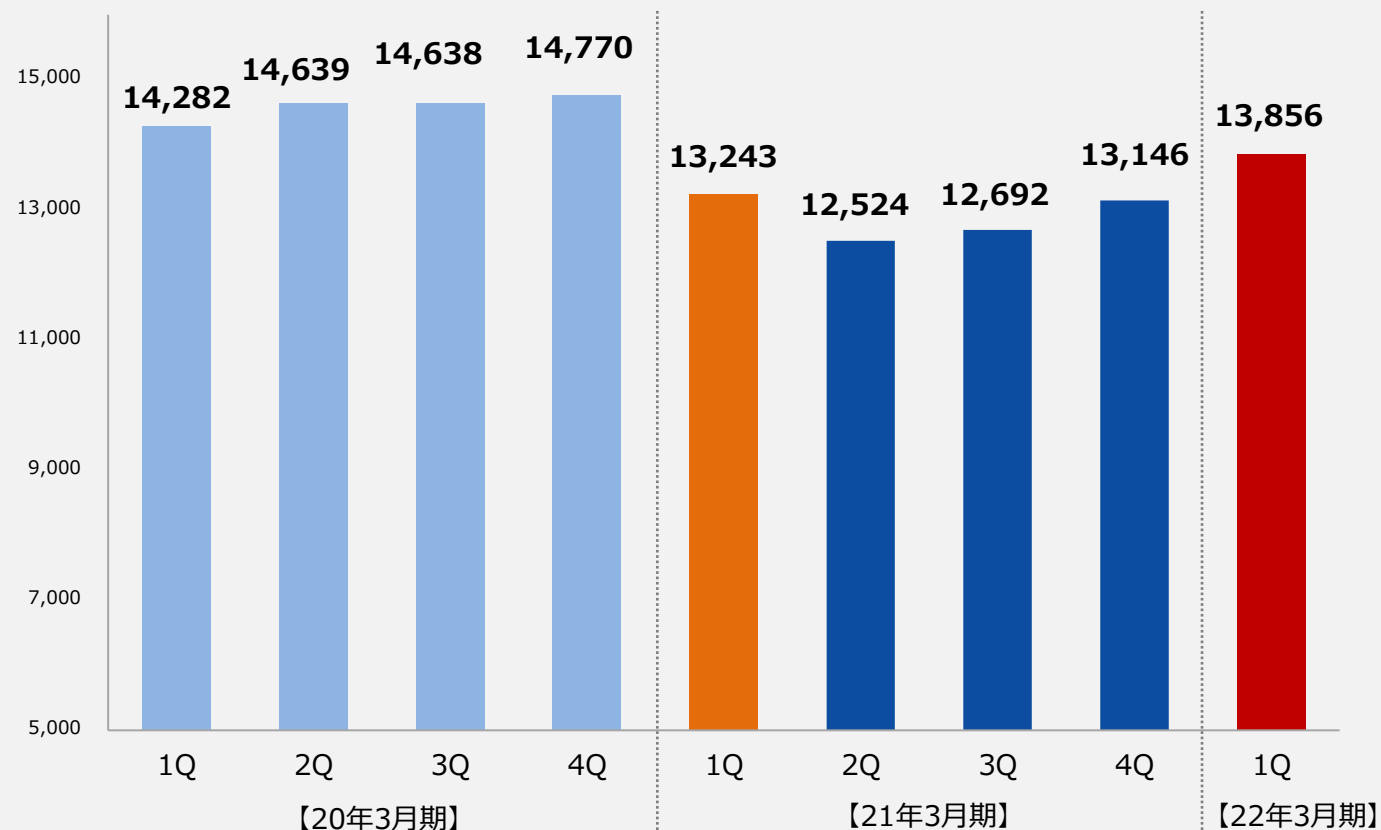
前年同期比で、新規入社が増加。
また退社抑制により離職率も改善、
在籍数は増加。

ポイント②

自動車、電子デバイスの人材ニーズ
は堅調。精密・電気機械、その他の
業種についても人材ニーズが回復。

期末在籍人数

（単位：名）



技能社員・エンジニア数（単体）

ポイント①

今期より、技能社員とエンジニアを別表記。技能社員及びエンジニアの総数は、順調に増加（前期末比+420名）。

ポイント②

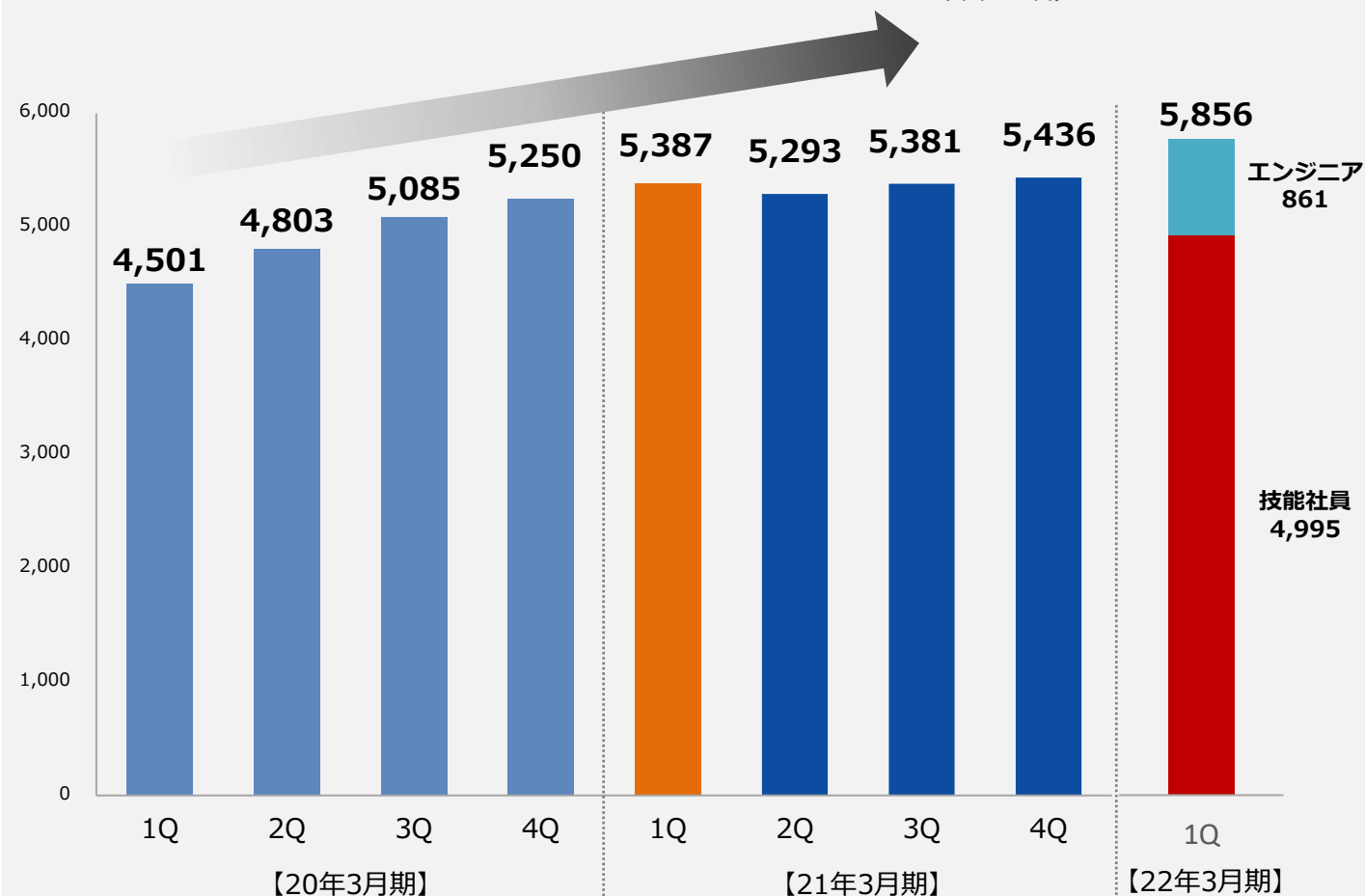
堅調である半導体に加え、車載メーカーなどアカウトを中心に増加。

ポイント③

在籍に占める技能社員及びエンジニアの比率は42.3%（2021年3月期4Q 41.4%）。

技能社員・エンジニア数

（単位：名）



アカウント企業について（単体）

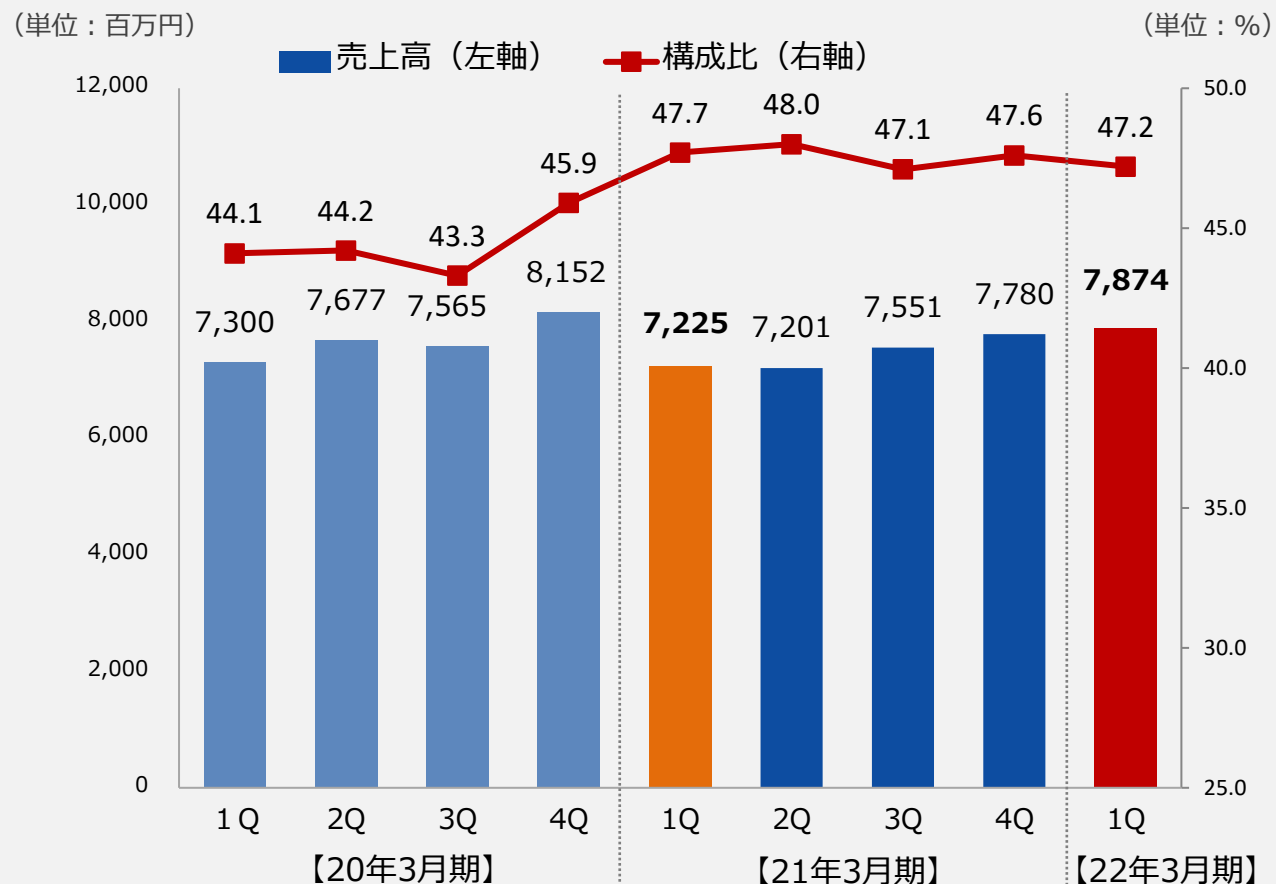
ポイント①

- ・アカウント企業グループの売上高は、前年同期比で9.0%増加。
- ・特に自動車系企業グループの売上高が増加。

ポイント②

全体の売上高増加により、構成比は前年同期比で減少も、1Qの売上高としては、上場来、過去最高。

アカウント企業グループ売上高



離職率（単体）

2022年3月期 第1四半期 実績

全体の離職率

3.5%

（対2021年3月期 0.7P改善）

技能社員の離職率

1.2%

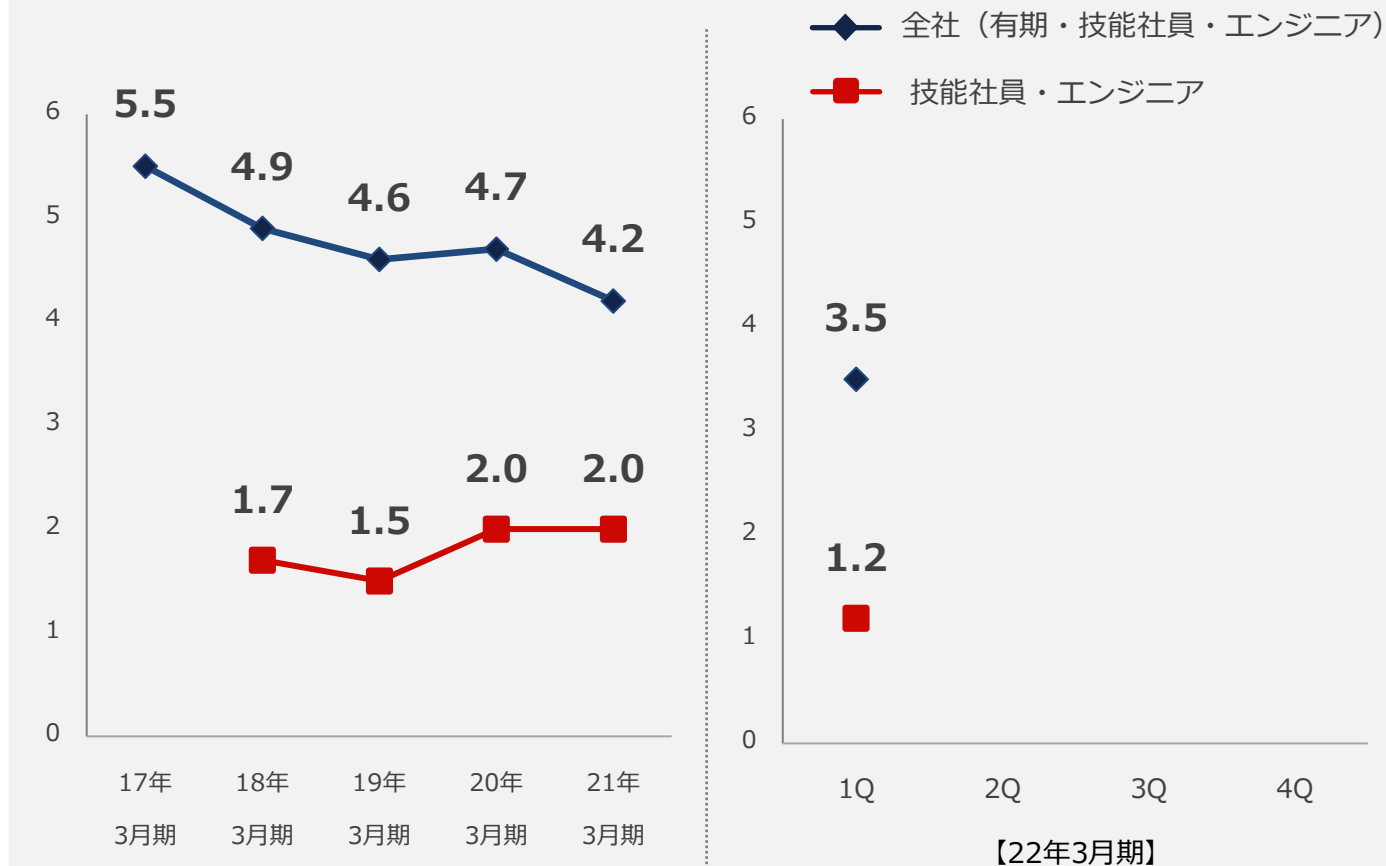
（対2021年3月期 0.8P改善）

ポイント

離職率の低下が、在籍増に貢献。

離職率推移

（単位：％）



教育実績（単体）

ポイント①

技能社員及びエンジニア増加に伴い、受講者数が増加。

ポイント②

- ・ 設備保全基礎教育については、更に質を重視した教育に特化。
- ・ 今後は、オンラインとリアル研修の同時進行による効率的な研修に取り組む。

ポイント③

エンジニア教育では、専門性の高い教育を実施。

● 2022年3月期 第1四半期 主要なコース別教育実績（延べ人数）

（単位：名）

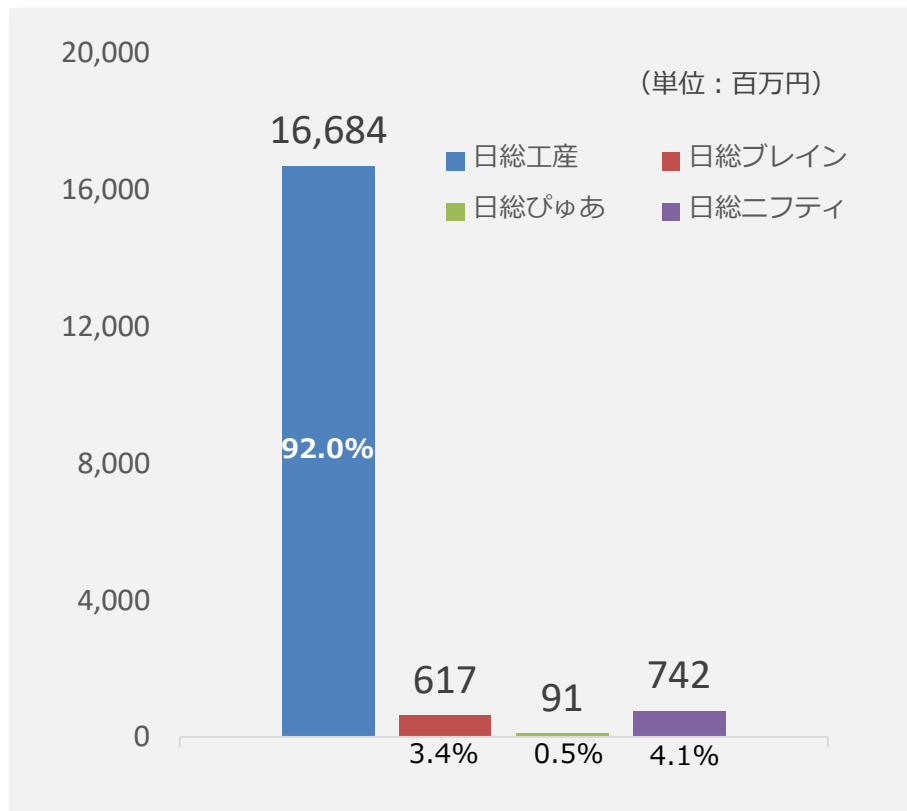
研修名	1 Q (4月～6月)	内容	21年3月期 1 Q
技能社員教育	448	技能社員スタンダード教育	259
設備保全基礎教育	28	設備保全基礎教育	69
エンジニア教育	39	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 SEAJ教育（半導体に特化した安全教育）	9
製造教育	1,331	ものづくり教育、 製造スタッフ配属前実習、 移動教育等	796
合 計	1,846		1,133



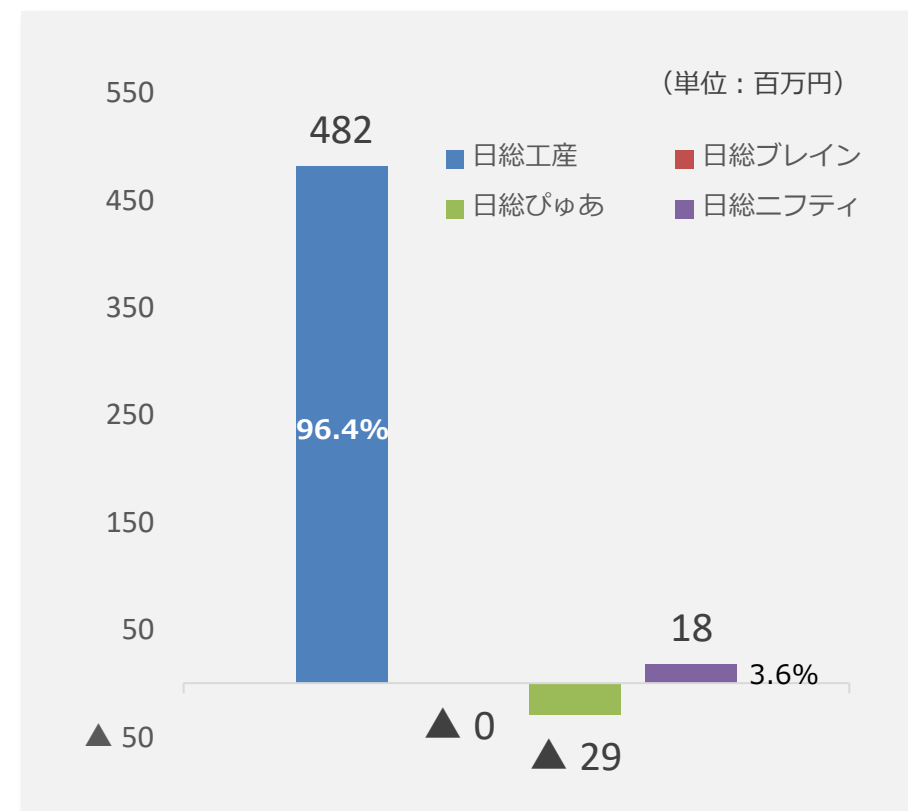
3 ターゲット別業績について (2022年3月期 第1四半期)

個別単体売上高・営業利益比率

2022年3月期 第1四半期
個別単体売上高



2022年3月期 第1四半期
個別単体営業利益



売上高・営業利益の90%以上は単体の業績で構成

既存領域について

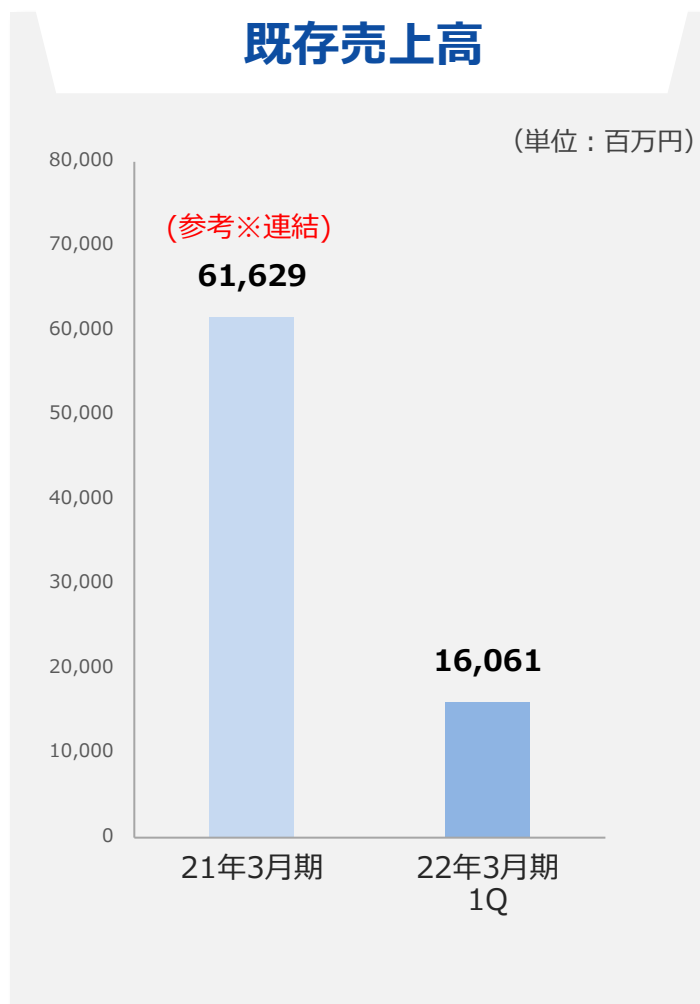
既存売上高について

- ・ 連結売上高からその他の事業（介護・福祉）及びエンジニア事業を除いた売上高。
- ・ 21年3月期の既存売上高は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

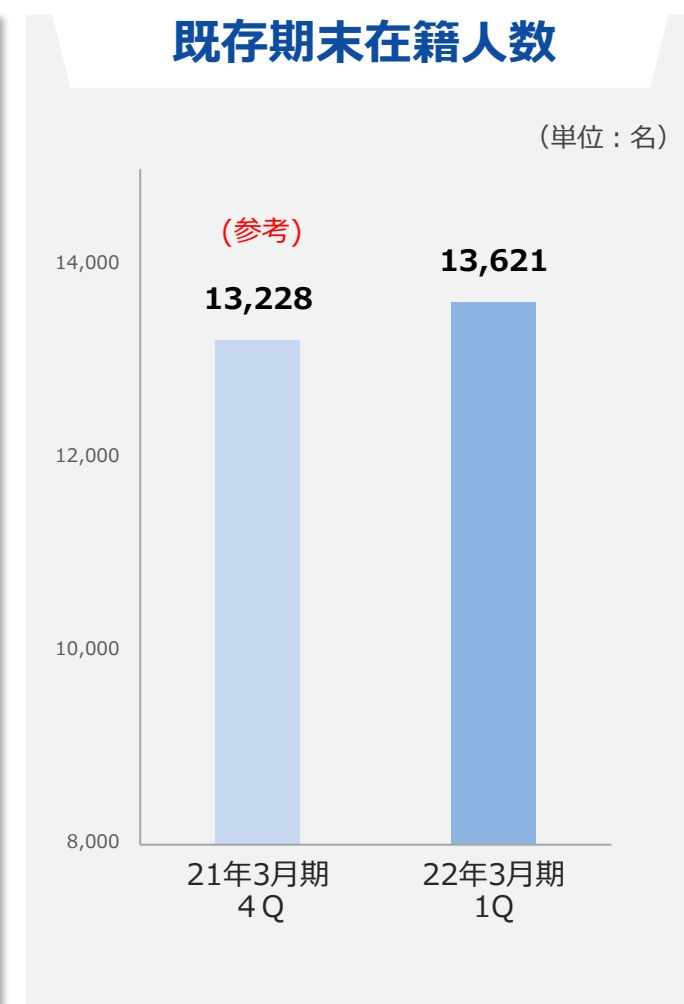
既存在籍について

- ・ 既存の在籍数は、製造スタッフ（除くエンジニア）及び事務派遣スタッフの在籍数。
- ・ 上記同様、21年3月期は参考値として記載。

既存売上高



既存期末在籍人数



株式会社ベクトル伸和の株式取得（子会社化）について



既存領域の拡大に向けて

既存領域拡大の成長戦略の第一歩として、株式会社ベクトル伸和の全株式を取得（子会社化）することといたしました。当社のリソースを掛け合わせることで、サービス提供体制の強化と事業の拡大が可能となり、両社の既存の顧客だけでなく、より広い範囲の顧客ニーズに応じてまいります。

株式会社ベクトル伸和について

- 半導体や精密機器などの製造業における請負業務が事業の柱。
- 事業内容は、治具、各種生産設備の設計・開発・製造、人材派遣、人材紹介など幅広い業務を手掛ける。

【会社概要】

(1) 名称	株式会社ベクトル伸和	
(2) 所在地	愛知県知立市池端三丁目1番地	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 金本 将生	
(4) 事業内容	人材総合サービス事業	
(5) 資本金	7,825万円	
(6) 設立年月日	2004年6月24日	
(7) 上場会社と 当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への 該当状況	該当事項はありません。

※詳細につきましては、2021年8月10日に公表いたしました「株式会社ベクトル伸和の株式取得（子会社化）に関するお知らせ」をご覧ください。

エンジニア領域について（業績）

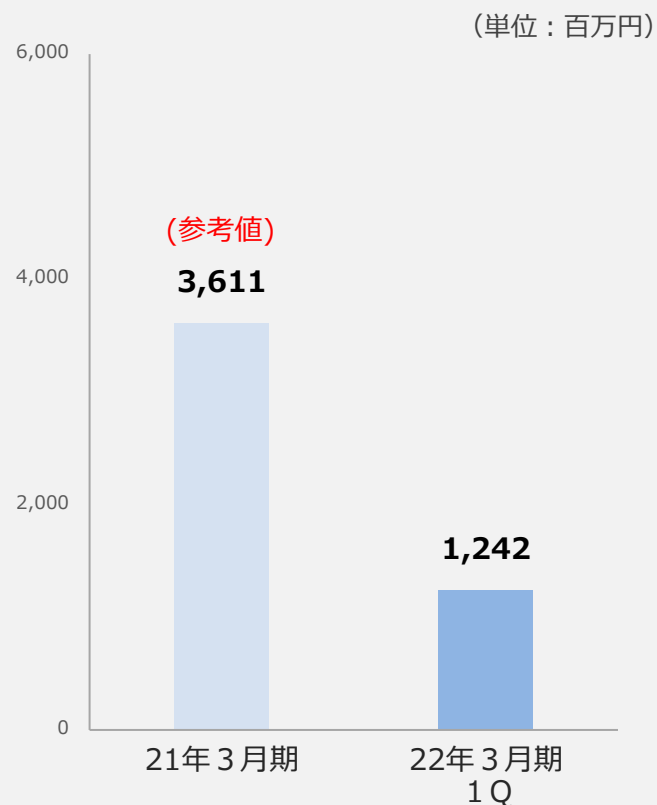
売上高について

- 1Qの売上高は、今期目標に対して順調に推移。
- 21年3月期のエンジニア売上高は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

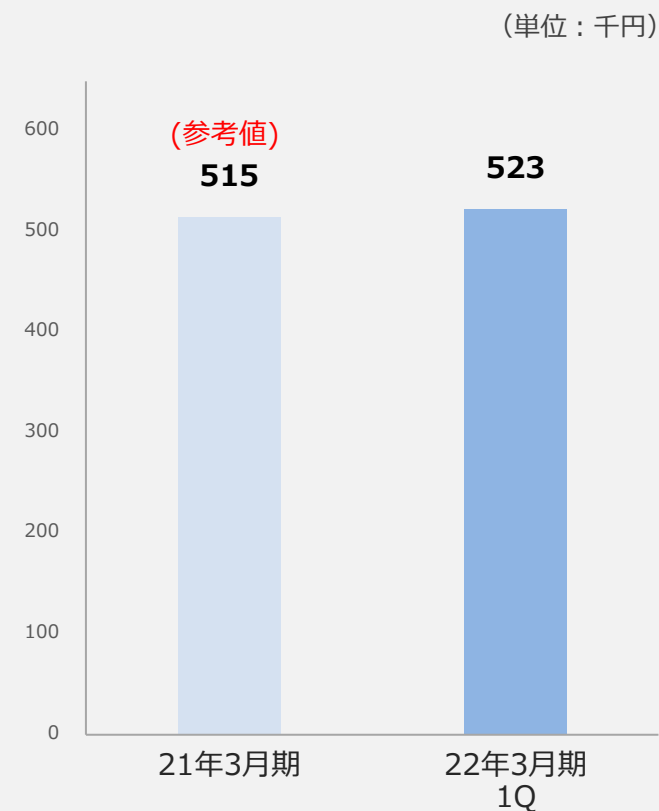
一人当たりの売上高について

- エンジニアの一人当たりの売上高は、523千円/月と、全社（409千円/月）、技能社員（464千円/月）と比較して高い。
- 上記同様、21年3月期は参考値として記載。

エンジニア売上高



エンジニア一人当たり売上高



エンジニア領域在籍人数

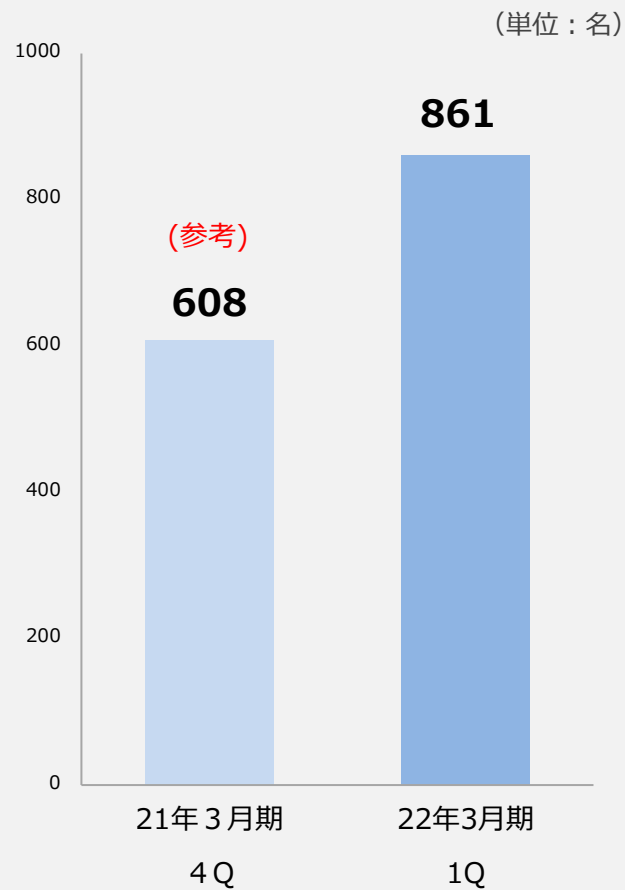
エンジニア期末在籍について

- 今期より、エンジニア業務を行っている人材を区分。
- 21年3月期の在籍数は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

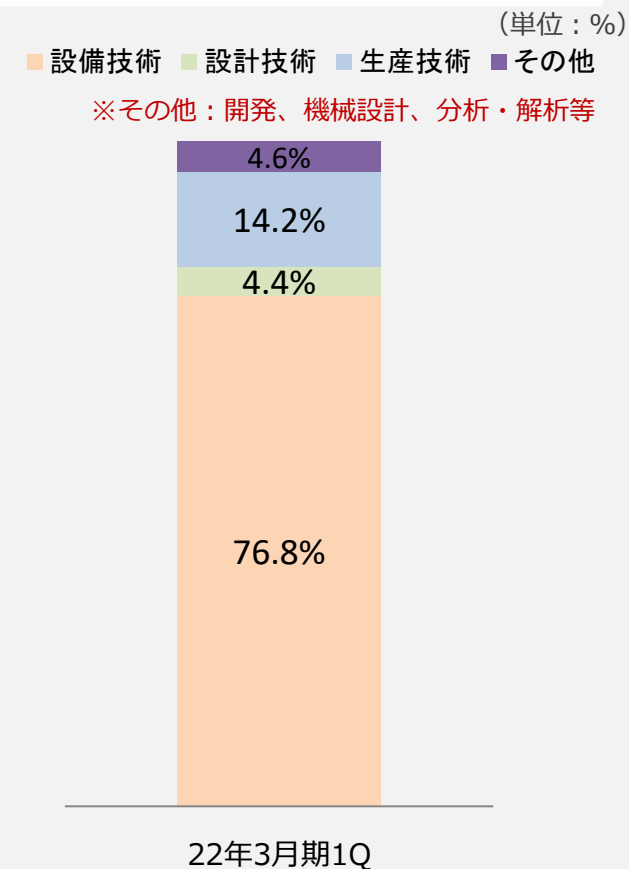
エンジニア業種分類について

- 業種別在籍では、設備技術が最も多く、設備保全業務がメイン。

エンジニア期末在籍人数



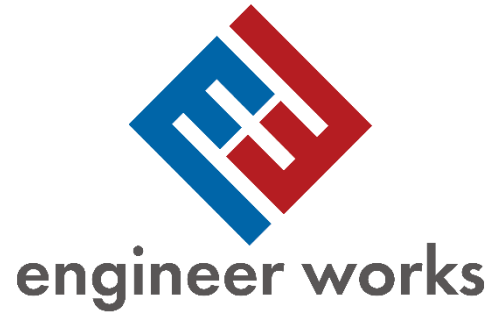
業種別在籍 構成比



エンジニア領域についてのトピックス

採用チャンネルの拡大

- ・エンジニアに特化した採用サイト『**engineer works**』を立ち上げ予定（8月中）。



(ものづくり系)

- ・機械設計・回路設計・組込制御・CAE解析
- ・CADオペレーション・生産技術 品質保証
- ・メンテナンス 保守・研究 開発
- ・分析 評価 試験・その他技術系

経験者採用

新卒採用

グローバルエンジニア

(IT系)

- ・PM PMO・システムエンジニア
- ・プログラマー・サーバー ネットワーク
- ・システム運用保守・テスト 評価
- ・社内SE ヘルプデスク・AI関連
- ・Webデザイン・その他IT系

募集職種の明確化と拡大

- ・ものづくり系10職種、IT系10職種の計20職種に拡大。

AI・ITエンジニア

- ・クロスコンパス社と協業にてAIエンジニアの教育をスタート。
- ・ITエンジニアによるインフラ設計構築受託業務をスタート。

エンジニア教育の外販

- ・保全教育を中心とした取引先社員への教育を受託。

離職率（既存・エンジニア領域）

2022年3月期 第1四半期 実績

既存領域（単体）の離職率

3.7%

（対2021年3月期参考値 0.6P改善）

エンジニア領域（単体）の離職率

1.4%

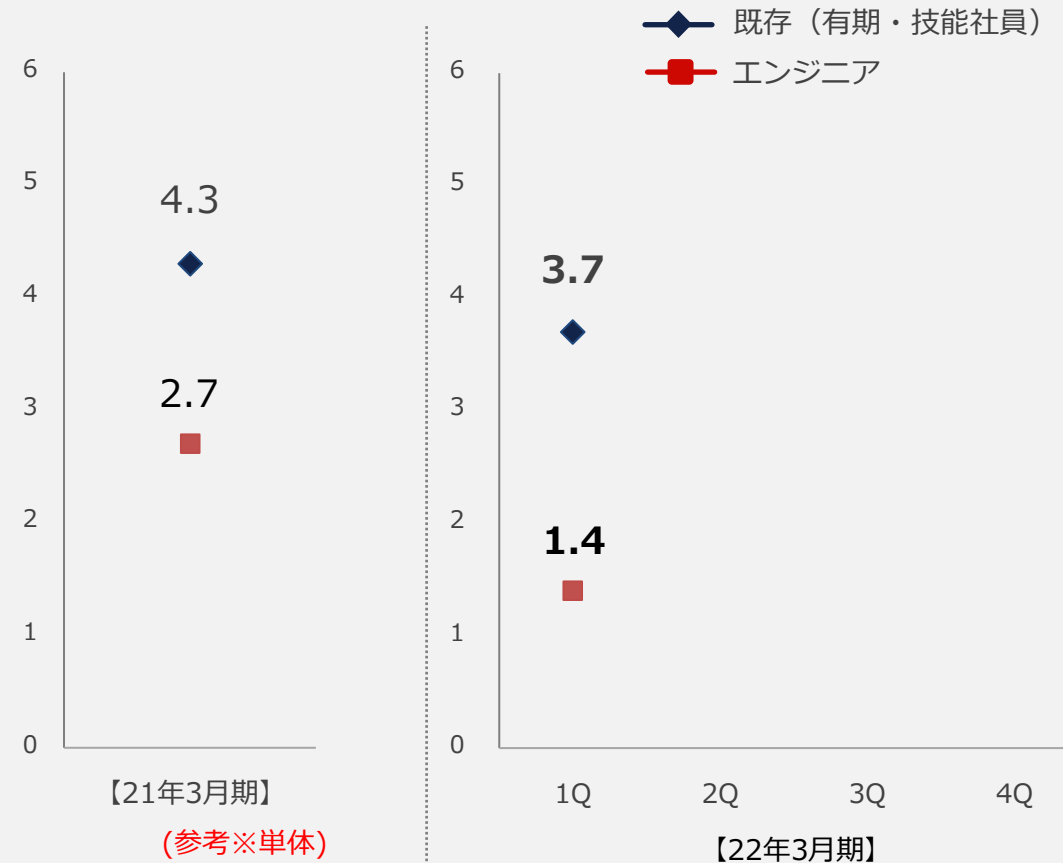
（対2021年3月期参考値 1.3P改善）

ポイント

- ・ エンジニアの離職率は、1.4%と低い。
- ・ 21年3月期の離職率は、今期より3事業に区分したため、参考値として記載。

離職率推移

（単位：%）



HRクロス（Web人材派遣一括管理システム）

- ・パートナーシップ企業である、クロスリンク社が提供する人材派遣一括管理システム（発注、契約管理、派遣スタッフの評価、勤怠管理等の煩雑な管理業務をカンタンにシンプルに使えるシステム）の試験運用開始。
- ・当社取引先からの受注決定。

システムの特徴①

DX化 （紙資料からの脱却）

- ・帳票や勤怠、請求書を派遣会社ごとに合わせたフォームで作成、管理が可能
- ・外部システムから勤怠データ等のCSVデータをHRクロス用に変換して取込可能
- ・過去情報検索や出力が可能

システムの特徴②

エビデンス・評価 が簡単・確実に

- ・評価等のエビデンスをweb上で記録、派遣先企業はいつでも確認可能
- ・現場や総務の方がスムーズに入力できる業界標準の統一した評価フォーマットを用意
※フォーマットは選択式、独自評価にも対応可能

システムの特徴③

定期的に改定される 派遣法への対応

数年に一度改定される派遣法改正および様々な法改正に対してクラウドサービスの利点として随時適切にアップデート対応

AI・ITエンジニア

- ・クロスコンパス社と協業にてAIエンジニアの教育をスタート。
- ・ITエンジニアによるインフラ設計構築受託業務をスタート。

その他の事業 事業収益

ポイント

- 介護施設である1～5号館の入居率は2.6P低下するも6号館の入居率は2.1P上昇。
- 効率的な運営を行った結果、18百万円の営業利益。

● その他の事業実績

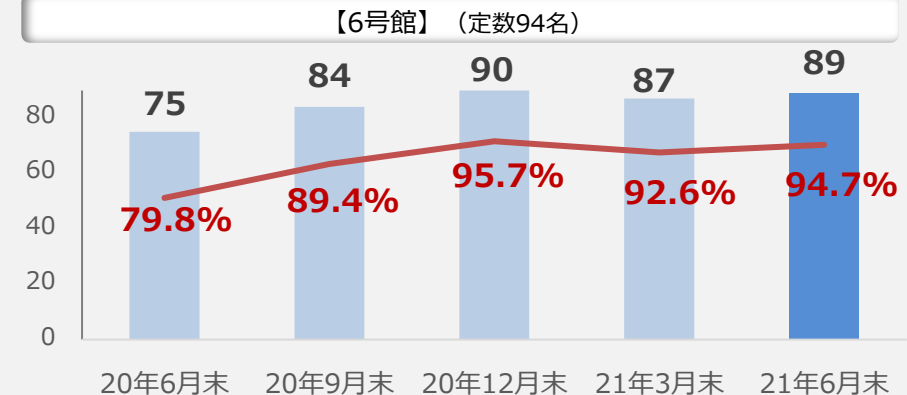
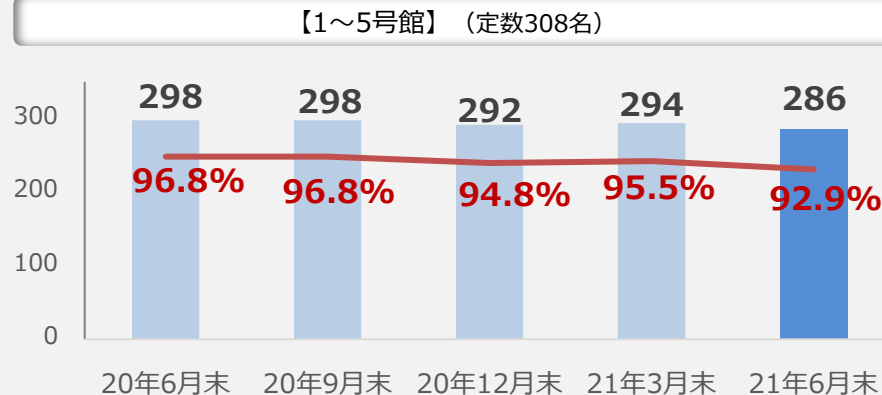
(単位：百万円)

	21年3月期 第1四半期		22年3月期 第1四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	720	100.0%	742	100.0%	22	3.1%
経費	738	102.6%	723	97.5%	△14	△2.0%
営業利益	△18	△2.6%	18	2.5%	36	—

施設入居者数

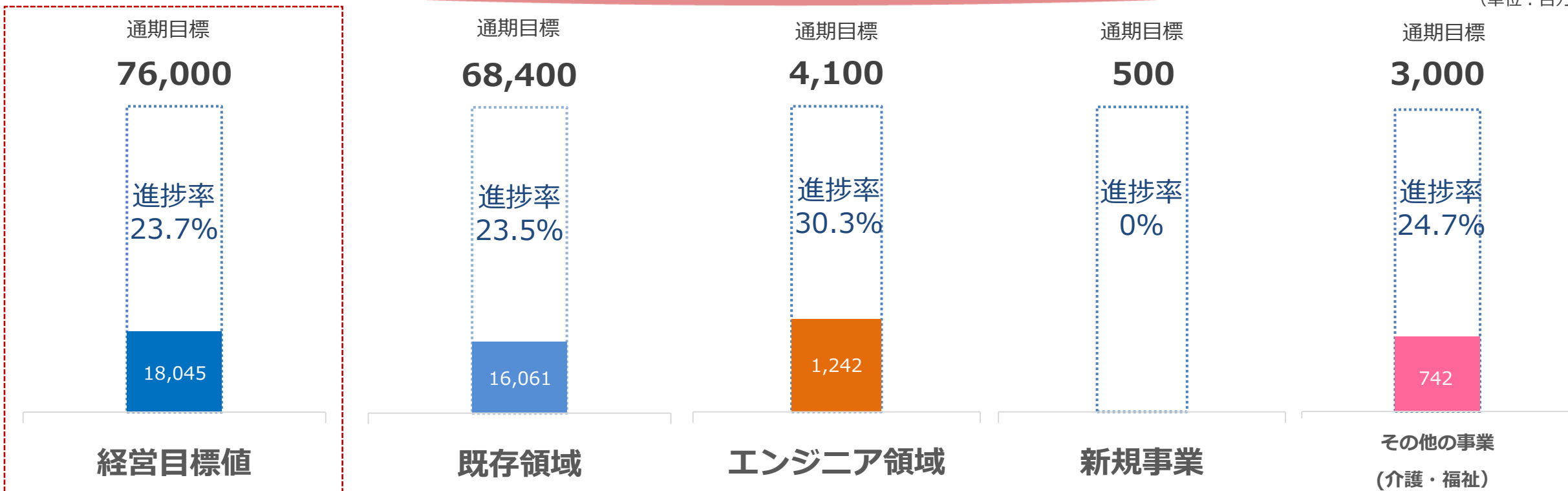
(単位：名)

■ 入居者数 — 入居率



まとめ（ターゲット別売上高目標 進捗）

(単位：百万円)



	22年3月期 経営目標値（連結）			22年3月期 既存領域			22年3月期 エンジニア領域			22年3月期 新規事業			22年3月期 その他の事業		
	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率	通期目標	第1四半期 実績	進捗率
売上高	76,000	18,045	23.7%	68,400	16,061	23.5%	4,100	1,242	30.3%	500	0	0%	3,000	742	24.7%

4 今後の見通し（2022年3月期）

2022年3月期 通期連結業績予想



通期連結業績予想では、増収増益を見込んでおります。今回の予想では、成長のための投資を含んでおります。

■ 2022年3月期通期連結業績予想数値（2021年4月1日～2022年3月31日）

（単位：百万円）

	21.3期実績		22.3期予想		対前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	68,213	100.0%	76,000	100.0%	7,786	11.4%
営業利益	2,599	3.8%	3,000	3.9%	400	15.4%
経常利益	2,949	4.3%	3,000	3.9%	50	1.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,592	2.3%	2,000	2.6%	407	25.6%

5 株主還元方針

株主還元方針

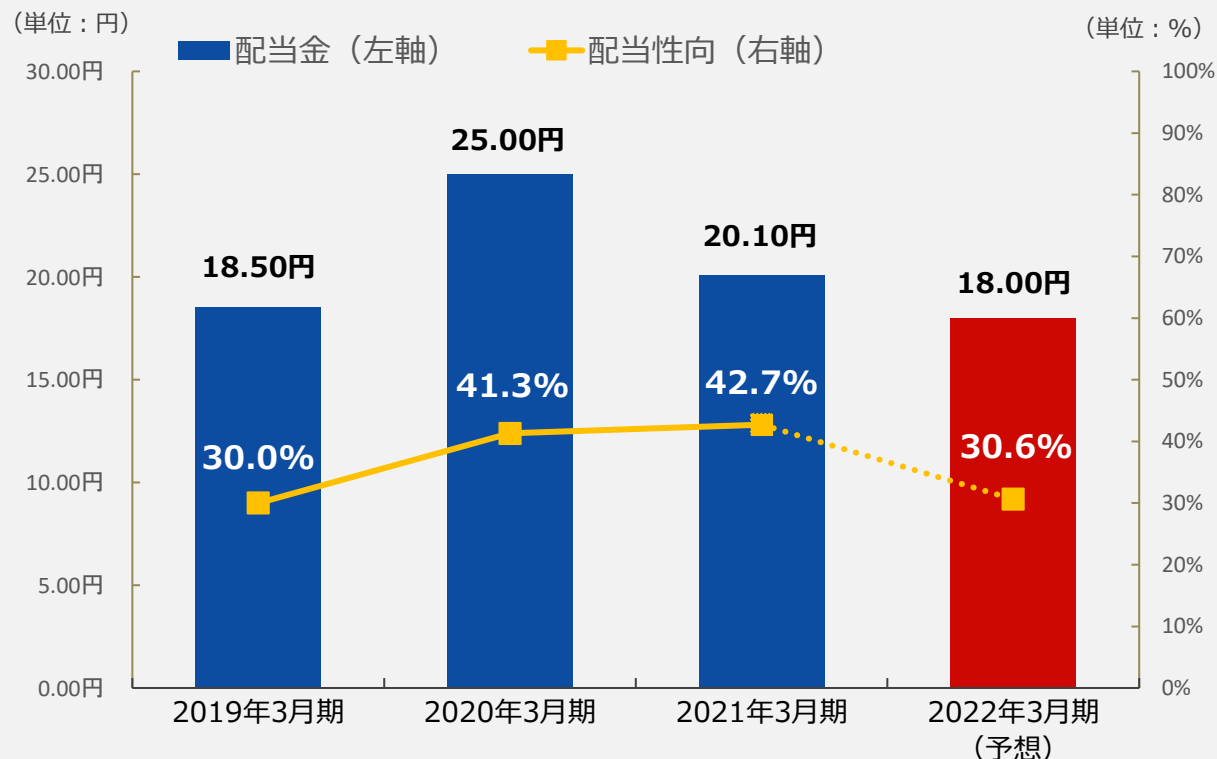
基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2022年3月期の配当予想

2021年5月12日に「2021年3月期決算短信[日本基準]（連結）配当予想」で公表いたしました一株当たり配当金額（18.00円）を予想しております。
今期は、来期以降の成長のための投資を行うことを踏まえ、配当性向は30.6%としております。

配当金と配当性向



※2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2019年3月期の配当実績は、2019年5月1日付分割後の配当金額を記載しております。



6 補足資料

連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

	21年3月末		21年6月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	14,813	68.5	14,680	68.7	△133
現金及び預金	5,873	27.2	5,624	26.3	△249
受取手形及び売掛金	8,094	37.4	8,162	38.2	67
固定資産	6,817	31.5	6,681	31.3	△136
有形固定資産	4,654	21.5	4,659	21.8	4
無形固定資産	305	1.4	280	1.3	△25
投資その他の資産	1,857	8.6	1,740	8.1	△116
資産合計	21,631	100	21,361	100	△269
流動負債	8,178	37.8	8,449	39.6	271
未払費用	4,541	21.0	4,755	22.3	213
未払法人税等	494	2.3	96	0.5	△398
賞与引当金	950	4.4	530	2.5	△419
固定負債	689	3.2	722	3.4	32
退職給付に係る負債	345	1.6	388	1.8	43
負債合計	8,868	41.0	9,171	42.9	303
株主資本	12,744	58.9	12,173	57.0	△570
純資産合計	12,763	59.0	12,189	57.1	△573
負債純資産合計	21,631	100	21,361	100	△269

Point

①稼働拡大による増加

製造系人材サービスの稼働拡大により、流動資産の「受取手形及び売掛金」他及び流動負債の「未払費用」他が増加しました。

②納税

5月末の法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」他が減少しました。

③賞与支給

6月末の夏季賞与支給により、流動負債の「賞与引当金」が減少しました。

④配当金

6月の配当金支払により、株主資本が減少しました。

⑤全体

上記の結果、前期末比で資産合計が1.2%減少、負債合計が3.4%増加、純資産合計が4.5%減少となり、自己資本比率は1.9%減の57.1%となりました。



人を育て 人を活かす

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

日総工産株式会社 IR室

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso.co.jp

URL <https://www.nisso.co.jp/>